

平成27年度事務事業評価シート(26年度実績)

◎基本情報

事務事業名		学校における太陽光発電装置推進事業		担当部署	教育委員会 教育総務課(室)	
総合計画体系				根拠法令 計画など	環境を考慮した学校施設(エコスクール)の推進整備に関するパイロット事業実施要項	
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり			事業期間	開始
政策(中項目)	3	たくましく生きる力を育むまち なんと		終期		
(小項目)		教育行政				
施策	1	教育行政の充実				
基本事業	7	安全で安心な教育環境の整備充実				

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 耐震化が完了した小・中学校校舎に太陽光発電装置を導入する。						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	地球温暖化対策への貢献、CO2削減、クリーンエネルギー、防災面の観点から、スクールニューディール構想(耐震、エコ、ICT)に基づき、環境教育に資するため、市内の各学校施設に太陽光発電装置を設置する。						
事業計画	26年度に何を計画していたか	○県補助金である「グリーンニューディール基金事業」を活用し、耐震化の完了している第二中学校及び第一小学校に太陽光発電装置を設置する。 ○設置にあたっては、各中学校区のバランスも勘案し、設置する。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	単位
		太陽光発電設備の設置完了(校数)		2	1			校

◎実施結果(DO)

事業実施内容	26年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	県補助金である「グリーンニューディール基金事業」を活用し、耐震化の完了している第二中学校及び第一小学校への太陽光発電装置設置工事に着手した。 (設置工事については、入札不調等により、工事着手が遅れたため、平成27年度に繰り越しを行うこととなった。平成27年5月に竣工。)					
事業実施手法		<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他					
指標名		25年度実績	26年度実績	27年度目標	28年度目標	29年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	太陽光発電設備の設置申請	0	3			
	2	太陽光発電設備の設置完了	0	3			
成果指標 対象にどのような効果があったかを示す指標	太陽光発電設備の設置完了(校数)		0	—	—	—	校
	目標達成率(実績/目標)		0.0	—	—	—	%
今年度の進捗状況	未達成		事業全体の進捗状況		遅れている		

(千円)

財源内訳	平成26年度	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
		当初予算額		0	36,000	0	14,800	0	50,800
		全体予算額		0	36,000	0	14,800	0	50,800
		決算額		0	0	0	0	20,639	20,639
		繰越額		0	29,984	0	0	0	29,984
	人件費		正規職員(6,878千円/人)	臨時職員(2,023千円/人)	総人件費		総事業費		
		0.0	0.0	0	20,639				

【事務事業名：学校における太陽光発電装置推進事業】
(千円)

事業費推移	年度	25年度決算	26年度決算	27年度	28年度	29年度
	事業費	0	20,639	-	-	-
	うち一般財源	0	20,639	-	-	-
	人件費	0	0	-	-	-
	総事業費	0	20,639	-	-	-

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	A:有効性があった		各中学校区のバランスを考慮し、これまで校区内に太陽光発電設備を設置した学校が無かった第一中学校及び第二中学校区への太陽光発電設備を行った。
	効率性	B:概ね効率的だった		耐震化の完了した学校への設置であり、災害時の避難所機能の強化にもつながるものである。
②成果に対する評価	指標名	太陽光発電設備の設置完了(校数)		設置工事の入札不調等により、平成26年度内の竣工ができなかった。
	目標	2	校	
	実績	0	校	
	評価	D:目標を達成できなかった		
③総合的な評価		C		設置工事の入札不調等により、平成26年度内の竣工ができなかった。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	太陽光発電の導入については、環境教育の観点から推進すべき事業であると考えている。また、各学校施設については、市の防災上も重要な施設となることから、防災機能強化という面からも、設置を進める必要がある。 しかしながら、太陽光発電設備の設置には多大な経費を要することから、今後については、民間活力を活用した屋根貸し等の方法による太陽光発電設備の設置を推進していくこととする。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	2
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	H27年度	○第一中学校校舎改築工事の中で、同校新校舎への太陽光発電設備の設置を行う。 ○環境部局が進めている、「鳴門市学校施設の屋根貸しによる太陽光発電システム設置事業」により、中学校2校、小学校7校への太陽光発電設備の設置を行う。			
	H28年度				